

開館・実施状況は急遽変更となる可能性があります。

静岡市美術館開館10周年記念
生誕110年・没後30年

赤羽あかば
末吉すえきち
展



『スーホの白い馬』は
こうして生まれた



赤羽末吉《スーホの白い馬》表紙（部分） 1967年 ちひろ美術館

【プレスリリースのお問い合わせ】 展覧会担当：安岡・太田・高橋 広報担当：大庭・寺崎

静岡市美術館 〒420-0852 静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー3F

SHIZUOKA CITY MUSEUM of ART tel. 054-273-1515 (代表) fax. 054-273-1518 www.shizubi.jp 1

50歳のときに絵本画家としてデビューを果たした赤羽末吉（1910-1990）は、モンゴルの雄大な風景を描いた『スーホの白い馬』などで知られています。

赤羽は22歳で満洲（中国東北部）へ渡ると、仕事の傍ら土俗人形の蒐集や影絵人形芝居を研究し、日本画家としても活躍。同時に満洲画壇における気鋭の論客でもありました。1943年、取材旅行で訪れた内蒙古（現・内モンゴル自治区）の壮大な風景に感動した赤羽は、そこで目にしたものを大量の写真やスケッチに収め、引揚げ時に命がけで持ち帰ります。これらの資料をもとに描かれた『スーホの白い馬』は、出版から半世紀がたった今なお日本中の子どもたちに読み継がれています。その後も満洲時代に培った経験をもとに、日本やモンゴル、中国の少数民族の民話を数多く手がけ、80歳で亡くなるまでの間に約80冊の絵本を発表しました。本展では内蒙古取材時の写真やスケッチ、資料から『スーホの白い馬』誕生の軌跡を探るとともに、ちひろ美術館所蔵の絵本原画やデビュー以前に描かれた作品など約300点をとおして、赤羽の画業の全体像をご紹介します。

赤羽末吉

Suekichi Akaba (1910 - 1990)



自宅アトリエにて 1983年

東京の神田に生まれる。日本画家のもとで1年ほど学び、以後独学。1932年満洲（中国東北部）に渡り、運送業や満洲電信電話会社などの仕事のかたわら、郷土文化の研究、日本画の制作に励む。1947年帰国。1948年から1952年まで民間情報教育局（CIE）、1969年までアメリカ大使館に勤務。1961年、50歳のときに『かさじぞう』を発表。以後、80歳で亡くなるまでの30年間に約80冊の絵本を手がけた。『スーホの白い馬』で1968年サンケイ児童出版文化賞、1975年ブルックリン美術館絵本賞など国内外の受賞多数。全業績に対し、1980年国際アンデルセン賞画家賞受賞。

みどころ

1. 日本画絵具で描かれた原画ならではの美しさ
2. 『だいくとおにろく』や『ももたろう』など、今も読み継がれるロングセラー絵本の数々
3. 『スーホの白い馬』全26場面一挙公開！赤羽が撮影した内蒙古の写真78点！
新旧版の絵本原画や内蒙古取材時の貴重な写真やスケッチで迎える絵本誕生の軌跡
4. 満洲時代の活動から最晩年の作品まで
絵本原画や写真、資料など約300点をとおして、赤羽の画業の全体像を紹介
5. 優れた評論や随筆を数多く残した赤羽、その言葉から作品を紐解く



満洲の冬の街頭物売り 1950年代

絵本画家としてデビューする以前に描かれた作品

誰しも自国の美しさというものは
その中にいたのではわかりづらい。
幸い私は中国大陸に長らくいたので、
その大陸の乾燥地帯の風土の美しさを知ると同時に、
対照的に日本の湿度の中の美しさを切実に知った。 *1

1章 民話 むかしむかし、あるところにー

50歳のときに手がけた『かさじぞう』以来、日本の風土が育んだ民話の世界を色鮮やかに描き出した赤羽。赤羽は伝統的な美術の手法に、現代的な独自の解釈を加え、民話のもつ抽象性や普遍性、さらには語りへの響きまで絵に表現しました。1章では日本の民話絵本の原画とあわせ、デビュー作『かさじぞう』へとつながる雪国のスケッチなどもご紹介します。

「むかしむかし」はいつの時代にもあてはまる抽象性と普遍性をもっている。
「あるところに」もこれと同じで、どこでもよいということである。
…民話を理屈だけで、写実だけで考える必要はない。 *2

足掛け7年通い続けた 雪国のスケッチ



雪国のスケッチ（塩沢） 1956年

デビュー作

日本の湿潤な雪を水墨で表現



《かさじぞう》表紙 1960年

ちゃんちゃんこ姿のももたろう



《ももたろう》表紙 1965年



《だいくとおにろく》より 1962年



《さるとかに》表紙 1968年

うんと長い顔の鬼もあっていいだろう…

この鬼穴はこわいところと、すこしぬけたところのある鬼だから、したしめるのではないかと思う。 *3

2章 『スーホの白い馬』はこうして生まれた

赤羽の代表作『スーホの白い馬』(1967年改訂版)誕生の背景には、戦前に訪れた内蒙古(現・内モンゴル自治区)での体験がありました。1947年、赤羽は過酷な引揚げを経て日本へ戻ります。このとき持ち出しの禁止されていた写真やスケッチなどを「いつか絵の大作に役立てよう」と命がけで荷物に忍ばせますが、その大半が1943年に訪れた内蒙古取材時のものでした。本章ではこれらの写真や資料、新旧版の絵本原画をとおして『スーホの白い馬』誕生の軌跡を辿ります。また、その後の絵本画家としての人生に大きく影響を与えた、赤羽の満洲時代の多様な活動をご紹介します。

第4回満洲国美術展覧会特選賞「瑠璃塔」習作 影絵人形芝居の研究家でもあった

新京の自宅にて 1940年頃



承德 須弥福寿廟の瑠璃塔 1940年



影絵芝居人形(遺品)



赤羽末吉著『影絵芝居の話』
満鉄鉄道総局営業局旅客課 1940年



中国少数民族の 民話絵本の原画も



《ほしになつたりゅうのきば》表紙 1976年



《あかりの花》表紙 1985年

『スーホの白い馬』全26場面一挙公開!

草原に立ってグルリとみまわすと、一方は暗雲、一方は晴天、一方はスコールというような天候の変化が一望にみわたせるような、地球の半分がいっぺんにみえるような、雄大なスケールの蒙古に感激した。

*4

私は、こうした壮大なロマンのものを、子どもたちにいっぱいみせたい。 *5

『スーホの白い馬』誕生の軌跡



内蒙古 阿巴嘎(アバガ)大王府 1943年



内蒙古の青年 1943年



内蒙古 貝子廟 1943年



内蒙古 1943年



スーホ風の男の子 1950年代



《スーホのしろいうま》(旧版)表紙(部分) 1961年

旧版の絵本原画も!



内蒙古 貝子廟 1943年



《スーホの白い馬》より 1967年

P5の写真はすべて
赤羽末吉撮影
一般財団法人日本カメラ財団蔵

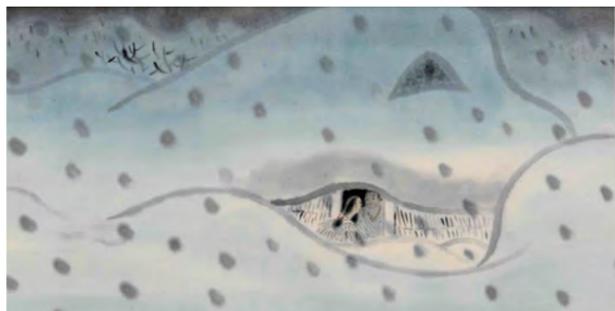
3章 絵本表現の可能性を求めて

デビュー作『かさじぞう』を手がけてから約 20 年。『つるにようぼう』でふたたび日本のしっとりとした雪国の風土と向き合った赤羽は、場面ごとに紙や筆を変え、雪そのものの質感を描き分けました。その後も次々と新しい試みに挑戦し、絵だけでなく 1 冊すべてを企画した創作物語絵本や『日本の神話』『源平絵巻物語』、さらには絵本化することが難しいといわれる宮沢賢治作品の世界など、80 歳で亡くなる直前まで絵本表現と向き合いました。

はげしい雪とゆるやかな雪、雪と雪、そしてしずかに幻想的な雪国の民話を展開させよう *6



《つるにようぼう》より 1979 年

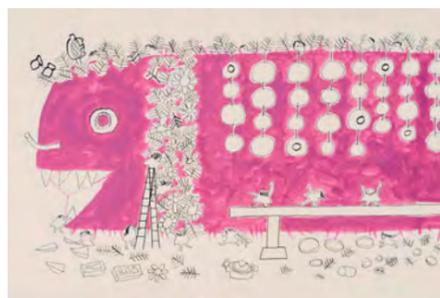


《つるにようぼう》より 1979 年



《水仙月の四日》より 1969 年

宮沢賢治の
宝石のような作品を絵本にするという、
ふるえるような感動と緊張の中で、
からだをぶっつけた
あの体験は忘れられない。 *7



《おおきなおきなおいも》表紙 1972 年



《日本の神話 第3巻 やまたのおろち》表紙 1983 年

私は今年 70 歳になります。今ようやく調子ができました。
この調子でゆくと、80 歳から 90 歳にかけていい仕事ができるのではないかと思います。
世界みなさん、どうぞ長生きして私の仕事をみててください。 *8

開催要項

静岡市美術館開館 10 周年記念

生誕 110 年・没後 30 年 絵本画家 赤羽末吉展

『スーホの白い馬』はこうして生まれた



■開催期間：2020 年 10 月 3 日（土）－11 月 29 日（日）

■休館日：毎週月曜日（ただし 11 月 23 日（月・祝）は開館、翌 24 日（火）は休館）

■開館時間：10:00－19:00（展示室入場は閉館の 30 分前まで）

■観覧料：一般 1,200（1,000）円、大高生・70 歳以上 800（600）円、中学生以下無料

*（ ）内は前売および当日に限り 20 名以上の団体料金

*障がい者手帳等をご持参の方および介助者原則 1 名は無料

■前売券：9 月 5 日（土）－10 月 2 日（金）まで販売

取扱場所：静岡市美術館、ローソンチケット [Lコード：41543]、

セブンチケット [セブンコード：084-919]、チケットぴあ [Pコード：685-331]、

谷島屋（バルシェ店、マークイズ静岡店、流通通り店）、MARUZEN&ジュンク堂書店新静岡店、百町森

■主催等（予定）

主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者（公財）静岡市文化振興財団、ちひろ美術館、Daiichi-TV

後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会

協力：一般財団法人日本カメラ財団、静岡図書館友の会、静岡市立中央図書館、

静岡県読み聞かせネットワーク、静岡県立中央図書館

助成：一般財団法人地域創造

赤羽末吉の言葉の引用は以下のとおり

*3.4.5.7 赤羽末吉『絵本よもやま話』偕成社、1979 年

*1.2.6.8 赤羽末吉『私の絵本ろん』偕成社、1983 年（改訂版：平凡社、2005 年 / 新装版：平凡社、2020 年）

長さ 5.3m！

満洲で蒐集した土俗人形コレクションを
引揚げ時に描き写した絵巻

作品はすべて 赤羽末吉
P5 の写真をのぞき
すべてちひろ美術館蔵



満洲人形巻物 1945 年

関連イベント

①講演会

『スーホの白い馬』の舞台：現代モンゴルの歴史と文化』

日時：10月18日（日）

14：00－15：30（開場 13：30）

講師：楊海英（大野旭）氏

（静岡大学人文社会科学部アジア研究センター長）

会場：当館多目的室 参加料：無料

定員：50名（予定）

申込締切：10月1日（木）必着

②対談「ふたりの江戸っ子？赤羽末吉と大塚勇三」

日時：11月15日（日）

14：00－15：30（開場 13：30）

講師：赤羽茂乃氏（赤羽末吉研究家）

古川信夫氏（元福音館書店編集者）

会場：当館多目的室 参加料：無料

定員：50名（予定）

申込締切：10月29日（木）必着

③担当学芸員によるスライドトーク

日時：11月3日（火・祝）

14：00－（40分程度）

会場：当館多目的室 参加料：無料

定員：50名（予定）

申込不要、先着順（当日10時より整理券配布）

④絵本をたのしむおはなし会

日時：10月10日（土）、31日（土）、11月14日（土）

13:30－/14:30－（各回30分程度）

朗読協力：静岡図書館友の会

会場：当館多目的室 参加料：無料

定員：50名（予定）

申込不要、先着順（当日10時より整理券配布）

⑤ミュージアム・コンサート

「馬頭琴によるモンゴル民族音楽

『スーホの白い馬』の故郷からの風』

日時：10月11日（日）14：00開演（開場13：30）

会場：当館多目的室

参加料：1,000円（全席自由）

定員：50名（予定）

申込締切：9月24日（木）必着

出演：Green Mongolia band

ミンガド・ボラグ（馬頭琴・ドブショル）

バトムンコ（馬頭琴・ホーミー）

ゲスト：松村明（ピアノ）

曲目：「故郷」（モンゴル民謡）

「Setgeld Shingesen Gobi」（心に染みるゴビー）

：ジャンツァンノロブ作曲、

「チャールダーシュ」：ウィットーリオ・モンティ作曲（ほか）

主催：静岡市美術館

協力：静岡音楽館 AOI

⑥影絵“皮影戯（ピーインシー）”上演会

赤羽が満洲でその美しさに魅了され、研究していた影絵“皮影戯”。伝統的な美しい人形とその技を今に伝える劇団影法師が上演します。

日時：10月24日（土）17：30-19：00

会場：小梳神社（静岡市葵区紺屋町7-13）

参加料：無料（当日直接会場へ）

出演：劇団影法師

演目：西遊記、鶴と亀

協力：静岡紺屋町名店街

※その他の事業、①②⑤申込方法は
当館ホームページをご覧ください。

※実施状況は急遽変更となる可能性があります。



《おへそがえる・ごん① ほんこつやまのほんたごんたの巻》より 1986年